



秋穂中学校図書館だより いきいき図書館

令和7年  月号

入学、進級おめでとう！！

秋穂中学校の学校図書館は、日当たりのよい（本のためには本当はよくないのですが）、明るく居心地のよい図書館です。グラウンドの体育の授業の掛け声や、昼休みに外で遊ぶ生徒たちのにぎやかな声も聞こえてきます。開館する昼休みには、本好きの生徒の絶好のたまり場となるはずです。

貸し出しは一人2冊まで、期間は2週間です。約8,000冊の蔵書の中からお気に入りの本、お目当ての本、気になる本を探し出してください。



本屋大賞発表

みなさんは「本屋大賞」を知っていますか。全国の書店の店員さんたちの投票で決まる「最も売りたい本」です。つまり「読んでほしい本」ということです。

今年の本屋大賞は、阿部暁子/著「カフネ」に決定しました。この本は、今後購入予定です。

学校図書館にも、ノミネート作がすでに3冊あるので、興味のある人は読んでみてください。

2025 本屋大賞/ミネート作より

➤ spring

恩田 陸/著 筑摩書房

少年は8歳でバレエに出会い、15歳で海を渡った。同時代に巡り合う者たち、それぞれの情熱がぶつかりあい、交錯する中で彼の肖像が浮かび上がっていく。一人の天才をめぐる長編小説。『蜜蜂と遠雷』で音楽を文章で奏でた作者が、今度は文章で「バレエ」を描きました。



➤ 成瀬は信じた道をいく

宮島 未奈/著 新潮社

知らぬ間に多くの人に影響を与えながら、我が道を突き進む成瀬あかり。幼馴染の島崎が故郷に帰ると、成瀬が書置きを残して失踪しており……。 「成瀬は天下を取りにいく」の続編。こんな人がそばにしていると困ると思いつつも、いてくれたら頼もしいなと思わざるをえない、成瀬あかりという不思議な人物。

いよいよ新学期が始まりました。みなさんご入学ご進級おめでとうございます。直前の寒さの影響もあって、桜の花は入学式まで持ちこたえてくれました。こんな美しい季節感を味わえるのも平和な日常があってこそです。しかし世界各地での戦火は止みません。一刻も早い停戦を願います。

さて、学校図書館も開館しました。1年生の図書館オリエンテーションも近々実施します。学級文庫も含めて、図書館の本をしっかりと活用しましょう。誰もが利用したくなる学校図書館をめざして、今年度もがんばります。(学校司書 徳重由紀子)



➤ 人魚が逃げた

青山 美智子/著 PHP 研究所

「王子」と名乗る謎の青年が銀座の街をさまよいつつ、「僕の人魚がいなくなってしまうって…逃げたんだ。この場所に」と語り、SNSのトレンドになる。その「人魚騒動」の裏では、5人の男女が「人生の節目」を迎えていて…。

今月のおすすめ本

カラフル

阿部 暁子/著 集英社

本屋大賞受賞作家の別の本を紹介します。

高校入学式の朝、駅のホームでひたたくり犯を捕まえた荒谷伊澄は、犯人を足止めしようとした車いすユーザーの少女、渡辺六花と出会います。伊澄と同じ高校の新入生で、気の強い六花に戸惑う伊澄ですが、六花と同じコースで通学してみて、車いすでの通学の大変さに気づきます。

図書館のウンチク

ちょっとものしりになろう！

☆図書館に関する記念日はひとつではありません☆

◆ 4月2日は「図書館開設記念日」

日本初の近代図書館である東京府書籍館（しょじやくかん）が1872年（明治5年）に湯島昌平坂学問所講堂跡に開設された日です。

◆ 4月30日は「図書館記念日」

1950年（昭和25年）4月30日に「図書館法」が公布されたことから、1971年（昭和46年）に記念日として決定されました。

◆ 6月11日は「学校図書館の日」

1997年（平成9年）、社団法人全国学校図書館協議会によって制定されました。